

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港大学 (国名: 中国 香港)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Science	
留学期間	2014 年 9 月 ~ 2014 年 12 月	
学部/学府・年次	農学部	4年次後期
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	<input checked="" type="radio"/> 有 (期間: 半年)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	① 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をされましたか?		
進路の予定	① 就職 (時期: 4月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	4 年後期に留学したため、留学した一学期分だけ留年し秋に卒業することにしました。留学後は就活と卒業研究を並行して行うつもりです。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	はい。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	役に立つと思います。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	香港大学は受講単位のうち半分以上を所属学部から取らなければいけません。そのため、交換留学生の中では自分の専攻と異なる経済やビジネス学科に所属して勉強する学生もたまにいました。 一つの教科は基本的に 2 時間の講義と 1 時間のグループ活動から構成されています。理系のコースもグループ活動があったりして、授業内容を題としたディスカッションや問題解決法の工夫をしたりしました。 ローカルの英語なまりには心配していましたが、私が取った教科の教授は(語学授業を除いた)3 人のうち 2 人がヨーロッパ出身、1 人がアメリカ人で、授業が聞き取れないことはありませんでした。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>香港大学は交換留学生を含め、一般学部生までも数多くの外国人を受け入れていますが、そのため留学生へのサポート体制は非常に整えていたと思います。 入学が決まった時点から大学のサポートセンターからメールが届き、大学や香港生活などを紹介したりしました。パディという現地の人とのマッチングプログラムもありまして、留学する前からメールでやりとりしながら友たちになりました。 学期の初めに留学生を対象とするオリエンテーションやイベントなどがいっぱいありますので、そこで友たちを作ったり生活情報を集めたりすることができました。 私のときには留学行く前から Facebook のグループが作成されていて、情報交換や友たちを作る機会が多かったです。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>香港は英語、中国語(マンダリン)、広東語の 3 つの言語を共用語としています。そのため、マンダリンも広東語もしゃべれない人でも生活には問題ないと思います。また、大学での授業はすべて英語で行われるので、言語で心配する必要はありません。</p> <p>香港は山地を開発したような地域なので、どこに行っても坂が多いです。歩きづらいところも多くて、近い距離にあるところに行くとしても思ったより時間がかかることが多かったです。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>香港はアメリカのように英語がネイティブである国でも、中国語を標準語としている国でもありません。これは外国語を勉強する留学生にとっては不利な条件かも知りません。しかし、私はこのようにいろんな文化や言語が混ざっているからこそ学べることもあると思いました。</p> <p>香港ではいろんな背景を持っている人たちに会うことができます。私が会った人のなかでは、台湾出身の両親の間に生まれ香港で育ったイギリス国籍の友たちやアメリカと韓国のハーフとして香港の国籍を持っている友たちなど、香港は様々なアイデンティティを持っている人で満たされていました。このような多様性があるからこそお互いを深く理解するためのコミュニケーションを生まれていると思いました。</p> <p>香港はアジア金融の中心地と言って過言でなくらい世界的な銀行や金融機関が集まっています。そのため、香港大学の経済・経営系列はアジアではもっとも優れた教育システムを持っていると断言できます。経済系の学生はもちろん、国際性を求めている学生さんにはぜひ香港をお勧めします。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>留学</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港大学 Centre of Development and Resources for Students (CEDARS)を通してメールで申し込みました。(代行)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>Visa Application</p> <p>Financial Situation of Applicant</p> <p>Credit card</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>6週</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>自分で直接申し込んだ方が手間はかかりますが、安いです。</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>香港大学は繁華街から非常に近いところに位置しています。私は欧米の友たちと仲が良かったので、放課後は町のバーやクラブに行くことが多かったです。パーティなどに参加しながら、学生以外にも香港で働いている外国人と友たちになったりしていました。</p> <p>週末を使って旅行に行く学生も多かったです。香港は中国や東南アジアに近いことからいろんな航空会社の経由地として使われています。ネットで Promotion Ticket を調べると実際安いので、旅行好きな人なら価値あると思います。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 6万 円/月 (生活費内訳) 通学費 5 千円、 食費 2 万 5 千円、 電話代 千円、 その他: (遊興費)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>コンセントの形が日本と違うので、アダプターを持っていく必要がある。 スーツ(香港の寮には High Table という昔イギリス式のパーティがありますので、是非持っていたほうが良い。)</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>香港の治安は日本ほど良いと思います。 もちろんバーなどが集まっている地域は危険なところもあると思われませんが、それはどこ行っても同じようなものだし、実際警察がいつもその地域を巡回しているのでそこまで危ないことはないと思います。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>私はシティバンクのワールドキャッシュカードを使いました。日本の口座にお金を振り込んでおくと、海外から自由に引き出せます。手数料も 1 回4000HKDまでの金額ならば1USD くらいなので他の銀行に比べると安いです。ただし、お金を下ろす時点での為替レートで換算されるため、そこだけ気をつけましょう。</p>
4. 住居、生活環境	
住居の種類(○印をつける)	<p>・<input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()</p>
住所/電話番号	<p>R.C.Lee Hall, 6A Sassoon road, Pok Fu Lam, Hong Kong</p>

費用(月額)	5780HKD／一学期	
どのようにして見つけたか	香港大学から入学許可と同時に寮の案内メールがきます。寮の申し込みは5月20日以降にネットからできます。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	正直、施設も古いしちょっと不便なところもあります。しかし、家賃が高い香港の住居環境を考えれば、これ以上の選択肢はないと思われます。	
留学生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	香港の国内経済格差は本当に激しいです。アジアのトップ大富豪が存在しながらも、生活に苦しむ人も多いです。これは言い変えると、食品・衣料品・生活用品など安い地域で買えば日本よりはるかに手に入れるし、良い物を食べようとする一食2万円もするなど diversity があるということです。本当に小さい地域の中にいろんな文化や生活が存在するところなので、ぜひ楽しんでほしいです。	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
cathaypacific	cathaypacific.com	毎週火曜日に promotion ticket を発売して、いつも見てました。台湾、フィリピン、マレーシアなど往復1万円もしないチケットも結構あります。
6. その他の特記事項		